

当院は下記の研究に協力しています

日本産科婦人科学会

周産期登録事業および登録情報に基づく研究

婦人科悪性腫瘍登録事業および登録情報に基づく研究

当院では、日本産科婦人科学会の行う両事業・研究に協力しています。当院で分娩された妊産婦さんの母体・胎児・新生児の医学的情報、および当院で治療を行った婦人科悪性腫瘍（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）の患者さんの医学的情報を、規定の登録フォームに個人が特定されないように匿名化処理を行った後にコンピューター登録します。当院が両事業に参加することにより、①学術的側面から周産期医学の発展に寄与すること、②両事業から得られる新たな知見を当院における臨床研究および疫学的解析に利用できること、③両事業参加により当院の臨床研修施設認定および研修活動が有利になること、が期待されます。

周産期登録事業においては、当院で分娩された妊産婦さんの情報を、分娩後に登録フォームに入力し、各年次ごとに1年分をまとめて学会に郵送します。この時点で氏名、生年月日、診察券番号など個人が特定される可能性のある情報は削除されます。婦人科悪性腫瘍登録事業においては、各患者さんごとに、学会ホームページ内の入力ページより、氏名、生年月日、診察券番号などの個人が特定される可能性のある情報以外の規定の情報を入力します。最終的な結果は、年次報告として日本産科婦人科学会雑誌に毎年掲載されますので、どなたでもご覧になれます。また、日本産科婦人科学会のホームページ(<http://www.jsog.or.jp/>)に概要が掲載されています。

※研究への協力を希望されない方はお手数ですが担当医にお伝えください。

兵庫県立尼崎総合医療センター院長